

ふじ維新 8月号

素麺流しも涼しげに…♪

笹の葉サッラサッ♪ふじの七夕祭は大盛り上がり!



下まで、流れてこないね。

短冊には、どんな願い事を書きましたか？



ふじ周南では、3日、4日、6日、7日に『七夕祭』を行いました。

短冊、七夕飾り作り、織姫と彦星の紙芝居、マンドリンコンサート、そして、季節感を感じていただけるよう、おやつ代わりにソーメン流しを行いました。「ソーメン流しは20年振り！昔の七夕はすごく派手に家族でやったよ。」と話される方も。

ふじ周南では、季節の行事を、これからも大切にしていきます。

ボランティアさん、いらっしやい♪

2007年 6月

素敵な踊りをありがとうございました。



■6/18 日本舞踊/紫扇会様

わざわざ光からありがとうございました。



■7/7 マンドリンコンサート/光マンドリン倶楽部様

編集後記 最近息子(4)が、今流行りの『ピリーズ・ブート・キャンプ』で鍛えてます。もう少しで、彼の筋肉はムキムキです。ビクトリー!(宮内)



暑中お見舞いの申し上げます。

連日暑い日が続いていますが、皆様、いかがお過ごしですか？暑いので、体には気をつけてください。水分補給は、しっかりとお願いいたします。

ふじ周南では、この夏の暑さに負けないように、元気よく皆様と過ごしていきたいと考えています。今後とも、よろしくお願いたします！

ふじ周南 職員一同



■デイサービスセンターふじ周南 広報誌
ふじ維新8月号 (33号)
■発行日 平成19年7月20日 (金)
■発行所 デイサービスセンターふじ周南 (株式会社 不二ビルサービス)
■〒745-0025
周南市築港町12-1スカイマンション1階
■TEL (0834) 27-2211
■FAX (0834) 32-2551

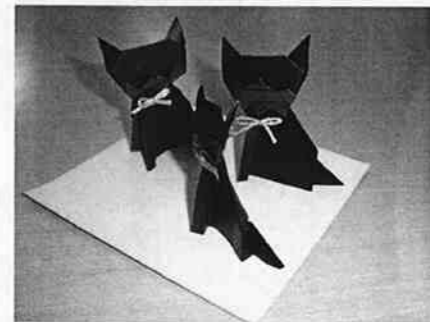
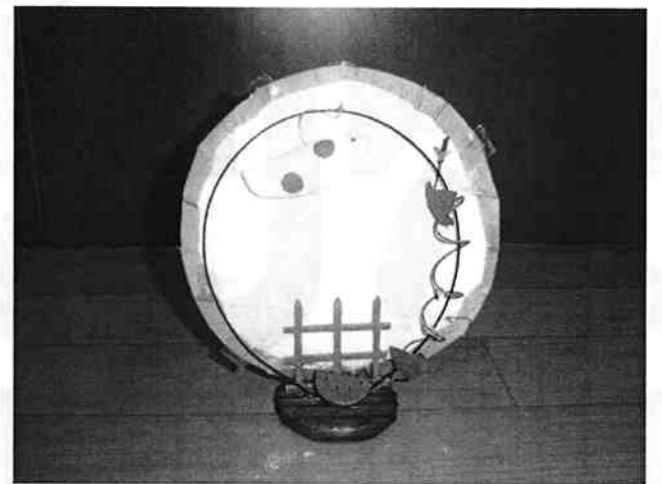
※個人情報に関する記載については、あらかじめ利用目的を明示した上で、ご本人またはご家族から同意をいただいております。

8月・レクリエーションスケジュール表

日	曜日	行事名	日	曜日	行事名
1	水	オカリナ&南京玉すだれ	17	金	三味線コンサート
2	木	フェイスマッサージ	18	土	夏祭り
3	金	ちぎり絵教室 (材料費300円)	19	日	お茶会
4	土	手品ショー	20	月	紙芝居ボランティア
5	日	魚釣り大会	21	火	フラワーアレンジメント教室 (材料費500円 初回のみ700円)
6	月	絵手紙教室 (ハガキ代実費負担)	22	水	お楽しみデイ
7	火	手品発表会	23	木	ビンゴ大会
8	水	3B体操教室	24	金	習字教室 (材料費100円)
9	木	体力測定	25	土	大道芸
10	金	スペシャル映画デイ	26	日	クッキング倶楽部
11	土	お茶会	27	月	クッキング倶楽部
12	日	スペシャルコーヒーデイ	28	火	大正琴教室
13	月	夏祭り	29	水	三味線コンサート
14	火	大正琴教室	30	木	クッキング倶楽部
15	水	夏祭り	31	金	フラワーアレンジメント教室 (材料費500円 初回のみ700円)
16	木	押し花教室 (材料費300円)			

※ 教室と表記されているレクリエーションに関しては、ボランティアの講師が来られます。詳しくは、スタッフまでお問い合わせ下さい。

ご利用者の作品紹介



写真上段右は『金魚の置物』、左は『蝸牛の小物』です。マッコ様の作品です。下段右は、『折り紙の薔薇』、左は『折り紙の猫』です。これは、平井様の作品です。

ふじ川柳・短歌

手習いの
八十路の絵筆
梅雨時間

帰国して
ひ孫真すぐに
入学す

愛子様

かたつむり
木の葉のうらみ
雨を待つ

チラシ見て
目玉商品
追いかける

ストレスを
ためぬ生き方
我を知る

マッコ様

面白と
思ひ暮らせば
面白い

老の坂道
いろいろありて

久子様

※俳句を詠むと、脳の「司令塔」と呼ばれる前頭前野が刺激される事が分かったと、6月10日の朝日新聞に掲載されています。一句ひねると、計算するよりも、脳の血流量が増すそうです。脳の活性化の為に、貴方も俳句をひねってみませんか？

※引き続きふじ周南では、皆様の作品を募集しています。作品を新聞に掲載しても良い方は、宮内までご連絡下さい。

ふわり日記

ふわり日記

皆様、こんにちは。今日は、曇った梅雨空に時々太陽が顔を出す中途半端な天気の日曜日です。暑すぎず、雨も降らず、お出かけには丁度よいかもしれませんね。皆様はどのように過ごしていらっしゃいますか？私は、昨夜眠ってしまっただけで、観る事のできなかつた旅のクイズ番組の録画を見ながら、軽く食事をしています。そして、締め切りに追われるギリギリの心理状態でこの文章を作成しています。さてさて、どのような結末になるのでしょうか。

旅することが大好きな私ですが、なかなか地元から出るチャンスがありません。そこで活躍するのがテレビジョンの旅番組です。想像力をかき立てられるラジオも比較的良好に聴けます。特に、いまだ脚を踏み入れた事のない世界の秘境がテーマの、観光地巡りとは異なる、その土地の匂いがするような映像を観るのが楽しみです。ヒマラヤ山脈に登ったり、シルクロードの遺跡発掘の考古学者にインタビューしてみたりと、このような映像を観る度に、『あ、私も体験してみたい。』と、口から感想がこぼれて、チャット横にいる主人を眺めてそれとなく催促をしてみます。

ウズベキスタンという国で、80歳を超えてシルクロードの遺跡発掘に努めていらっしゃる、加藤先生という方がいらっしゃる。第二次大戦後、シベリヤ抑留を余儀なくされて、そこから生還された加藤先生は、シベリヤの凍土の下に眠る友を慰むながら、今現在も気温40度を超える灼熱の砂漠で仏教遺跡の発掘に情熱を注いでいらっしゃる。80歳を超えて暑い砂漠に立ち向かわれる姿は、一緒に発掘にあたる外国人の若い学生にも感動を与えている様です。戦争経験の傷跡はどんなに月日が流れようと、癒えることとは無いのです。その悲劇が二度と繰り返されることのないように、加藤先生の精神を受け継ぐ人々が増えてほしいと思います。

一方、私の方は、ハワイで火山を観察したり、スイスでアルプス山脈に登ってみたいと、やってみたいことは年を重ねる度に増えるばかりです。

私達も生きていく地球の上で生活を営むものですから、地球の生きてきた鼓動を探る旅を一度はしてみたいものです。悠久の地球の歴史に敬意を払い、ゆったりと深呼吸をしながら、目先のことにとらわれすぎない生き方をしたいものです。そして、子供達には、素敵な未来を受け継いでほしいですね。いつの日か、この原稿を地球の裏側で書いているかもしれませぬよ。

大きな夢はこのあたりで置いて、私は今から洗濯物を干したいと思います。どうか、きちんと乾きますように。